

2009. 1.31

各位

東大阪宇宙開発協同組合
理事長 今村博昭

小型人工衛星「まいど1号」運用状況のお知らせ

小型人工衛星「まいど1号」は予定軌道(高度約666Km)を正常に巡回しています。

平素より当組合のプロジェクトに格別のご理解とご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて東大阪宇宙開発協同組合(SOHLA)が新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)からの委託事業として開発し、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の技術支援で大阪府立大学、大阪大学、龍谷大学と協力し、完成した小型人工衛星「まいど1号」は2009年1月23日12時54分に、種子島宇宙センターより「いぶき」(GOSAT)と共に、HIIA15号機で打上げられ、同日14時36分にJAXA種子島の増田宇宙通信所との間でSバンドによる通信が確立し、衛星の機能が正常である事を確認致しました。

その後、沖縄、増田、勝浦にあるJAXAの3宇宙通信所のいずれかの局において、昼1回、夜1回、の運用を原則として姿勢制御系の機能確認、及び発生電力を良くするため、スピンレート制御3回、スピン軸制御(姿勢変更)5回の制御を実施致しました。衛星状態は正常ですが、姿勢安定性をより良くするため、スピンレートをアップして動作確認を実施しています。

1月29日現在、次の通り正常であり、姿勢変動も少なく安定しております。

- ・発生電力：50~60 [W]
- ・太陽方向(スピン軸に対して上部から)：39 [deg]
- ・スピンレート：10 [rpm]

尚、今後の予定は、初期機能確認に1ヶ月、引続き定常段階として約3ヶ月かけてミッション機器の実験(アマチュア無線運用を含む)を行う計画です。

【お問い合わせ】東大阪宇宙開発協同組合 事務局(担当：野田・松岡)

TEL:06-6747-8081 / FAX:06-6747-8095